

## 龍谷大学と取り組む「ぶどう<sup>さんしょう</sup>山椒」の産地振興が 「近畿ディスカバー<sup>むら</sup>農山漁村の宝」に認定されました

有田川町と龍谷大学（京都府京都市）が連携して取り組む「ぶどう山椒の発祥地を未来へつなぐプロジェクト」が、近畿圏における産地振興の優良事例として、農林水産省近畿農政局から「近畿ディスカバー農山漁村の宝」に認定されました。

本プロジェクトはぶどう山椒の認知促進を主な目的とし、大学生が山村地域に入り込み、農家や民間企業との連携により開発した商品を通し、ぶどう山椒の魅力などを消費者に発信しています。

また、商品売り上げの一部を「ぶどう山椒」の苗木購入費に充てることで、産地を未来へつなぐことを目指します。



龍谷大学経営部藤岡ゼミの皆さまと中山町長・坂頭副町長



中山町長から藤岡ゼミの皆さまへメッセージを送りました

## 「有田みかん」をベトナムへ輸出

国産温州みかんのベトナムへの輸出が解禁され、全国で初めて和歌山県が誇る「有田みかん」が輸出されました。令和3年（2021年）11月28日（日）に奥地区のありだ農業協同組合AQ中央選果場で行われました。

病害虫の防除や農園の事前登録などの条件を満たし、事前に検疫を済ませて箱詰めされたみかんがトラックに積み込まれ、成田空港に向けて出発しました。

今シーズンは2tの輸出を見込んでおり、12月からベトナム南部の都市ホーチミンのスーパーなどで販売が開始されました。その他SNSやフリーペーパーを使ったPR活動を行い、現地消費者に温州みかんの美味しさや産地の歴史など、その魅力を発信します。

